

『Atom』(あとむ)

『Atom』は「architecture=建築」と「tomorrow=明日・未来」を組み合わせた造語です。協会が発足した2003年は、あのアトム誕生年。本誌も、アトムにあやかり時代を超えて愛され、活用される広報誌であり続けたいとの願いをこめて、このネーミングといたしました。

## 建築業界の抱える問題と真摯に向き合い、 少しでも皆様のお役に建てるよう努力して参ります

山形県建築協会会長 市村清勝

平成15年3月に山形県建築協会として発足して以来、10年が過ぎ、早11年目を迎えることになりました。そんな節目の年に会長職を拝命することになり、大変緊張しながら会の運営を始めることになると思います。相田前会長におかれましては、業界そのものが大変厳しい時期、建築マーケットの縮小に伴い会員の減少もあり、会の活動そのものが憂慮される状況の中で6年間に亘り、会の運営にご尽力を賜り、心より敬意を表すところであります。

建築協会は建築業者としての情報発信や意見を言える組織としての受け皿、そして業界内の情報交換の場として発足をさせていただいた「県内唯一の建築業者の会」であります。これからもこの基本を大切にしていきます。不安はたくさんありますが、会員の皆様からお選びいただいた事の重要性を認識しながら、大変未熟者ではありますが、少しでも会員の皆様のお役に立てるように努力していきたいと思っております。

今は景気の変動が激しく、東北そして山形の経済にも大きな影響があります。

1. 東日本大震災の影響 2. アベノミクスの影響 3. 来年4月からの消費税率アップによる駆け込み需要。この3つに加えて、少子高齢化、人口減少がボディブローのようにじわりと効いてくるでしょう。そんななか建築業界でもいくつもの問題点を抱えています。

1. 震災復興の遅れ
2. 若手人材の建築離れによる技術の継承 技術者不足 職人育成
3. 建築物の耐震化の遅れ
4. 消費税導入前の駆け込みと導入後の市場の縮小
5. 老朽化した公共建築物の維持管理
6. 公共建築物の予定価格と現実との格差
7. エネルギー問題

そんな問題をひとつでも多く取り上げながら、具体的な活動や提言が出来ればと思っています。

いづれにしても私一人で出来ることではなく、会員皆様のお力添えをいただきながら進めてまいりたいと考えています。私の足りないところは心強い3人の副会長と役員の方々がいらっしゃいます。任期期間中のまずは2年間、精一杯職務を遂行させていただきますので、よろしくご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



# 新しい時代へ進んでいくために 共に力を合わせて参りましょう

山形県建築協会監事

相田 晃 輔

会員の皆様、賛助会員の皆様、そしてこれを手に取ってお読みいただいている全ての方に心より感謝を申し上げます。私は、昨年度まで当会会長を仰せつかっておりました、米沢市の相田建設(株)の相田でございます。昨年度まで6年間もの間会長職を預かり、皆様には大変お世話になりました。お陰様で、今般無事に市村会長にバトンタッチすることができましたが、長期間私のような者が代表であったために会の活力が削がれてしまったのも事実であります。私は今年度から監事というお役目を拝命致しましたが、市村会長をより立てて会の活力を取り戻し、有意義な会になりますよう引き続き尽力して参りたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

思い起こせば10年前、山形県に建築関係だけを取り扱う団体を設立したいので協力して欲しいとの声かけがあり、弊社役員会で協議した結果参画する事とし、私は当会設立当時副会長などというお役目をいただいていたのが運のツキだったのでしょうね。初代会長退任のあと、二代目会長を拝命する事となったのでした。

この10年、色々と大きな変化、出来事がありました。バブ

ル崩壊後の長引く不景気と少子高齢社会のなか、2008年のリーマン・ショック、2009年には自民党政権から民主党政権となり、2011年の東日本大震災により多くの命が失われ、原子力発電所が津波で破壊、放射能が飛散するなど未曾有の災害が発生、2012年末にはまたもや自民党政権に戻るなど、政治経済の目まぐるしい激変のみならず自然災害も多々発生、我が業界にも大きな影響が及んでおります。このような6年間、当会をこれまで維持することが出来たのも賛助会員様を含む会員企業のご支援ご協力あったればこそであります。改めて感謝を申し上げます。

今後も激動の時代は続くものと思われませんが、山形県建築協会を会員各社お互い切磋琢磨あるいは協力して新しい時代へ進んでいくために必要な場と位置づけ、地域と建築業界、会員各社の維持発展のため、共に力を合わせて参りましょう。

## ::: 会員名簿

相田建設株式会社

愛和建设株式会社

株式会社市村工務店

株式会社井上工務店

荻野建設株式会社

小野建設株式会社

狩野工務店

有限会社笹原建業

株式会社高松木材

株式会社たくみ

株式会社千歳建設

株式会社千歳工務店

株式会社ニホン総建

株式会社沼澤工務店

株式会社藤建設

布施建設株式会社

本間建設株式会社

株式会社丸健

丸七建設株式会社

丸ト建設株式会社

有限会社丸与建設

和興建設株式会社

## ::: 賛助会員

株式会社アイタ工業

株式会社アールテック

株式会社アベ硝建

アユミ産業株式会社

株式会社稲田亀吉商店

遠藤設備建設株式会社

小笠原商事株式会社

株式会社北日本ハウジング

共立商事株式会社

黒澤建設工業株式会社

黒澤鉄筋有限会社

弘栄設備工業株式会社

株式会社高橋硝子店

株式会社タカハシ電工

株式会社竹原屋本店

東北電化工業株式会社

トーエイ工業株式会社

株式会社ナガセ

株式会社西村工場

株式会社東照電気

株式会社広工務店

株式会社ホシカワ

株式会社マルシゲ

株式会社ムラヤマ

株式会社山形企業

山形パナソニック株式会社

山形三菱電機機器販売株式会社

株式会社ヤマケン

山建工業株式会社

山建設備株式会社

株式会社ヤマコン

山新建装株式会社

株式会社ヤマト

株式会社ユアテック山形支社

我妻建材工業株式会社

有限会社ワタナベ金属工業

# 賛助会員企業

Get!  
Best Partner!

vol.8

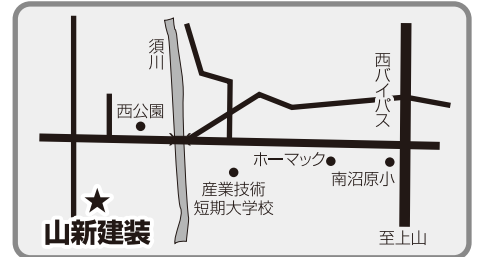
## 山新建装株式会社

事業内容：屋外広告代理店、会場設営、看板・標識製作、商業施設設計、ディスプレイ業、内装工事



〒990-2345 山形市富神台28番地 山形建設工業団地  
TEL(023)644-1661 FAX(023)644-1663  
URL <http://www.yamashin-kenso.co.jp/>

ひとに心にやさしい空間を。  
商業施設の建築、内外装や博物館・資料館などの文化施設、各種サイン、ディスプレイ、各種イベントなど、あらゆる空間をカタチにするため、プランニングから設計、監理、施工まで総合的に行っています



設立：昭和43年9月  
代表者：代表取締役社長 市村 克朗  
従業員：28名

## 我妻建材工業株式会社

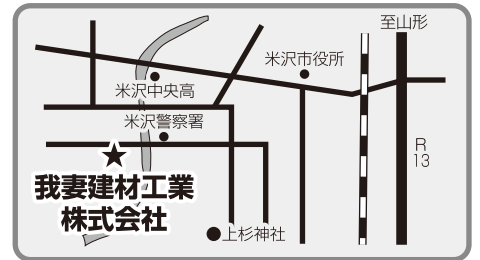
事業内容：建材事業部／新建材・銘木、住宅設備機器  
工事業部／軽量鉄骨天井地下地組、軽量鉄骨間仕切組、天井・壁 各種ボード貼、各種サイディング販売・施工、GL工事、ユニットバス施工、システムキッチン施工、サッシ・エクステリア工事



※写真はショールームです。

〒992-0054 山形県米沢市城西2丁目3番64号  
TEL(0238)22-6078 FAX(0238)22-6046  
URL <http://www.wagatsumakenzai.co.jp/>

わたしたち我妻建材工業は、創業以来『会社と社員の成長をなすとげ、地域社会に貢献する』ことを基本理念とし、日々努力してまいりました。これからも、長年培ってきた技術とノウハウをもとに、お客様のお声に耳を傾け、お客様の多様なニーズに的確に迅速にお応えし、情熱とチャレンジ精神を武器に、地域社会に貢献してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



設立：昭和41年6月  
代表者：代表取締役 我妻 光明  
従業員：17名

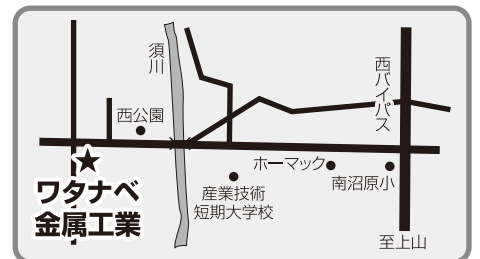
## 有限会社ワタナベ金属工業

事業内容：建築金物加工、ステンレス、スチール製品、アルミ笠木、手摺、鉄骨工事、太陽光発電事業



〒990-2345 山形市富神台33番地 山形建設工業団地  
TEL(023)643-5568 FAX(023)645-1943  
URL <http://www.chuokai-yamagata.or.jp/ddo/co3/>

当社の扱うメインの素材は、時代と共に鉄からアルミ・ステンレスへと変わってきています。それに伴い金物工事、手摺工事などのデザインもまた、変化してきました。当社では、こうしたニーズに対応し、いち早く設備や工法を考え、機械化・自動化が進めば、進むほど、ますます得がたいものとなる手仕事の技にも力をいれています。新しい感覚と豊かなデザイン力、そして確かな技術力を持った”現在の職人”を育て社会の需要に応じていきたいと考えています。また現在は、新たな取組として太陽光発電事業にも参入しています。



設立：昭和28年4月  
代表者：代表取締役社長 渡辺 賢次郎  
従業員：8名

# その木、どこの木？ 木材利用ポイント事業

## 木材利用ポイント事業とは

地域材の適切な利用を確保することは、我が国における森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止、循環型社会の形成などに貢献し、農山漁村地域の振興に大きく貢献するものです。

このため、関係者による地域材の需要拡大の取組を促進し、地域材需要を大きく喚起する対策として、地域材の利用に対してポイントを付与し、農山漁村地域経済全体への波及効果を及ぼす取組への支援を行います。

## 木材利用ポイントの発行

ポイントの発行対象は、木材利用ポイント事務局に登録された木造供給業者が提供する材料を使い、山形県木材利用ポイント事業推進協議会に登録された施行業者が工事を行った以下のものです。(3は事務局に登録された製品)

また、1と2は同時に申請することが可能です。(最大60万ポイント)

### 1 木造住宅の新築・増築又は購入

- ①平成25年4月1日から平成26年3月31日までに工事に着手するもの
- ②対象工法\*1によるもので、主要構造材及び間柱において、対象地域材\*2を材積の過半に相当する量以上\*3を使用するもの
- ③使用する対象地域材の産地、樹種を看板等により広く表示するもの(看板要素の例参照)

**木材利用ポイント**  
1棟当たり30万ポイント  
(特定被災地域の住宅で、「全壊」等と認定された場合は1棟当たり50万ポイント)

### 2 内装・外装木質化(床、内壁及び外壁)

- ①平成25年4月1日から平成26年3月31日までに工事に着手するもの
- ②対象地域材が過半を占める建築材料を使用する一定面積以上(床および内壁では9㎡以上、外壁では10㎡以上)の工事

床	新築	9㎡	2.1万ポイント	以降3㎡増えるごとに7千ポイントを加算
	リフォーム	9㎡	3万ポイント	以降3㎡増えるごとに1万ポイントを加算
内壁	新築	9㎡	1.5万ポイント	以降3㎡増えるごとに5千ポイントを加算
	リフォーム	9㎡	2.1万ポイント	以降3㎡増えるごとに7千ポイントを加算
外壁	木質系外壁材	10㎡	1.5万ポイント	以降10㎡増えるごとに1.5万ポイントを加算
	新規外壁材	10㎡	7千ポイント	以降10㎡増えるごとに7千ポイントを加算

\*内装及び外装木質化工事は、合計付与数の上限を30万ポイント。\*新規外壁材とは、外壁に使用するために新規に開発された建築材料であって、今後普及が見込まれると有識者委員会が認めたもの。

### 3 木材製品及び木質ペレットストーブ等の購入

- ①平成25年7月1日から平成26年3月31日までに購入されたもの
- ②ポイントの付与対象となるものは、公募により選定ポイントが付与されるための詳細な要件等についてはホームページなどで明らかになっています

## ポイントを利用して交換できる商品・サービス

- ◇地域の農林水産品等
- ◇農山漁村地域における体験型旅行
- ◇商品券
  - ・全国商品券・プリペイドカード(農林水産品関連商品券を除き、森林づくり・木づかい活動に対する寄附を行うものに限る。)\*4
  - ・地域商品券
- ◇森林づくり・木づかい活動に対する寄附
- ◇特定被災地に対する寄附
- ◇即時交換
  - (木材利用ポイントの発行対象となる工事により取得したポイントを、当該工事を行った登録事業者が当該工事と一体的に実施する別の木材を使用した工事等の代金に充当すること)

\*4 全国商品券・プリペイドカード(農林水産品関連商品券は除く)への交換、即時交換を行う場合、付与されたポイントの50%を上限に利用することができます。

## 対象工法 ※1

樹種または地域を示して、あらかじめ定める以下の工法のほか、県協議会の推薦を受け、基金管理委員会が事業目的に照らし適切と認めたもの。\*5

### <あらかじめ定める工法>

- ・スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツ又はアスナロを主要構造材等として過半使用する木造軸組工法
- ・スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツを主要構造材等として過半使用する丸太組構法
- ・スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツを主要構造材等として過半使用する枠組壁工法

\*5 住宅建築や材の調達・加工等を通じ、地域の雇用、経済に対する大きな波及効果が明らかかなもの

## 対象地域材 ※2

次の(1)及び(2)のいずれも満たすもの

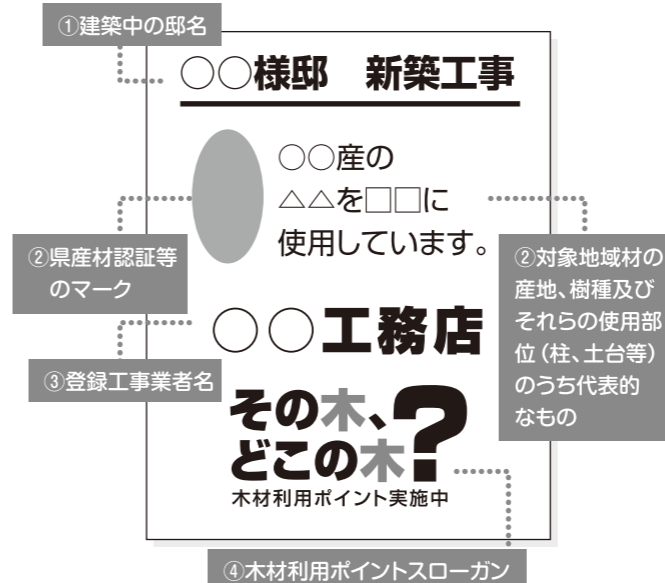
- (1)産地等が証明される木材(以下のいずれか)
  - ①都道府県による産地証明制度等により認証されるもの
  - ②民間の第三者機関により認証された森林から産出されるもの
  - ③「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に基づき合法性が証明されるもの
- (2)資源量が増加しているものであって、あらかじめ定める以下の樹種のほか、基金管理委員会が事業目的に照らし適切と認めたもの(\*6)

### <あらかじめ定める樹種>

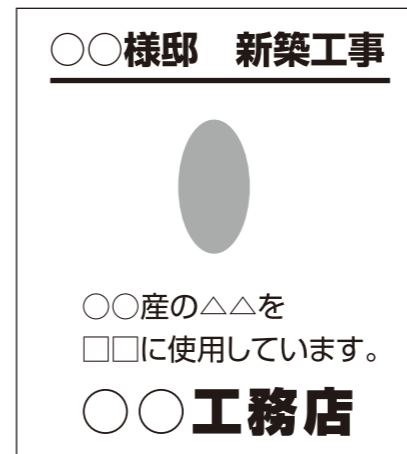
スギ、ヒノキ、カラマツ、トドマツ、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツ及びアスナロ

\*6 対象地域材の使用を通じ、地域の雇用、経済に対する大きな波及効果が明らかかなもの

## 【看板要素の例】



### ●木材利用ポイントのスローガン表記しない場合



\*必ずしも許可証などと同一の看板で表示する必要はありません。

## 材積の過半に相当する量 ※3

主要構造材・間柱(並びに基準を満たす構造用合板及び木杭)\*6に使用する対象地域材の量

延べ床面積	主要構造材の量
80㎡未満	4㎡
80㎡以上95㎡未満	5㎡
95㎡以上110㎡未満	6㎡
110㎡以上125㎡未満	7㎡
125㎡以上	8㎡

\*6 主要構造材は柱・梁・桁・土台です。間柱は、厚さ27mm以上のものです。構造用合板(壁に使用する厚さ12mm以上のもの並びに床に使用する厚さ24mm以上のものに限る)木杭(木造住宅の新築時に地盤補強が必要な場合、地盤補強材として木杭を使用する場合)

## 問い合わせ窓口

ポイント申請の窓口は県内8カ所に設置されています。  
ポイントホームページでご確認下さい。

専用コールセンター  
**0570-666-799**(有料)

\*IP電話等からのご利用の場合

**03-6701-3270**(有料)

(受付時間)9:00~17:00(土・日・祝日を含む)

木材利用ポイント事務局ホームページ

<http://mokusai-points.jp>

# 平成24年度 事業報告



## 1 総会、理事会・委員会・各種事業

24. 4.13	平成23年度 第5回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
5.16	平成24年度 総務委員会	(山形建築会館)
5.31	平成24年度 第10回 定時総会	(ホテルメトロポリタン山形)
7.13	会報「アトム」の発行 NO.13	
7.24	平成24年度 第1回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
25. 3. 1	平成24年度 第2回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
3.26	平成24年度 研修会及び会員交流会 講師 三井住友海上経営サポートセンター 五十嵐常太氏 演題 建設業の労務管理について (参加者 研修会:32名 交流会:29名)	(ホテルメトロポリタン山形)

## 2 全国中小建設業協会関係

24. 6. 8	平成24年度 第2回通常理事会	(朝日生命大手町ビル)
6. 8	平成24年度 通常総会	(朝日生命大手町ビル)
9.18	平成24年度 第1回社会保険未加入対策検討会	(朝日生命大手町ビル)
10.26	平成24年度 事務局長会議	(朝日生命大手町ビル)
2. 7	平成24年度 土木委員会・建築委員会合同委員会	(朝日生命大手町ビル)
3. 6	平成24年度 評議員会	(朝日生命大手町ビル)



▲5.31 平成25年度 第11回 定時総会 (ホテルメトロポリタン山形)

### 3 一般事業

24. 5.18	(社)山形県建築士事務所協会通常総会	(ホテルメトロポリタン山形)
5.22	(社)山形県建築士会通常総会	(パレスグランデール)
5.24	山形県鉄構工業組合通常総会	(パレスグランデール)
5.29	山形県電気工事工業組合創立50周年記念式典	(山形グランドホテル)
6.13	やまがた県産木材利用センター通常総会	(ホテルメトロポリタン山形)
7.20	山形県管工事業協同組合連合会総会	(ザ・リヴィントン)
9.11	第1回山形県省エネ木造住宅協議会	(山形県自治会館)
10.29	第4回山形の家づくり大賞コンペ実行委員会	(山形グランドホテル)
11.22	第2回山形県省エネ木造住宅協議会	(あこや会館)



## 総務委員会

- ①総会・新年会の開催
- ②理事会の開催
- ③正副委員長会議の開催
- ④表彰に関する業務
- ⑤会報「アトム」の発行及びホームページの運営
- ⑥建築協会のPR活動
- ⑦会員及び賛助会員の募集活動

## 企画情報委員会

- ①会員親睦事業の実施
- ②会員懇談会の開催
- ③関係法令の周知徹底と適正価格受注の推進

## 施工・調査研究委員会

- ①施工物件の視察研修と安全パトロールの実施
- ②安全教育・研修の実施
- ③行政との懇談会の実施
- ④行政側の建築業に対する政策の調査研究
- ⑤賛助会員に関する業務
- ⑥その他調査研究に関する業務

# 平成25・26年度 一般社団法人山形県建築協会 役員名簿

会 長	市 村 清 勝	株式会社 市村工務店
副会長	小 野 和 行	小野建設株式会社
	高 橋 武 彦	株式会社 高松木材
	千 歳 毅	株式会社 千歳建設
理 事	横 山 正 己	愛和建设株式会社
	井 上 孝 一	株式会社 井上工務店
	荻 野 武 好	荻野建設株式会社
	佐 藤 靖 之	株式会社 たくみ
	菊 地 康 倫	株式会社 千歳工務店
	後 藤 晃 一	株式会社 藤建設
	本 間 伸 一	本間建設株式会社
	東海林 松 男	丸七建設株式会社
	村 上 栄 一	丸ト建設株式会社
監 事	相 田 晃 輔	相田建設株式会社
	石 川 信 美	和興建設株式会社



一般社団法人  
**山形県建築協会** (社)全国中小建設業協会 加盟

# 会員募集

常時会員を募集していますので、ご入会ご希望社は事務局までご連絡下さい。

山形県建築協会事務局  
山形市城北町一丁目12番26号(山形建築会館内)  
TEL023-647-6131 FAX023-643-4562

## 編集後記



アベノミクスによる「3本の矢」が放たれ、市場は目論見通りの円安・株高、デフレ脱却で景気好転の予感。震災の復興予算に加え、「国土強靱化」のための公共事業は増加。一方、ピーク時から100万人以上減少した業界の深刻な人手不足。さらに円安による資材の高騰。迫り来る消費税増税。甘酸織り交ぜてもたらされる業界関連ニュース。で、結局、どうなるの？

総務委員会